

令和3年度

**摂津市の教育に関する事務
の管理及び執行状況の点検
及び評価報告書**

摂津市教育委員会

目次

1	はじめに	P1
2	教育委員会について	P2
	(1) 教育委員会の構成	P2
	(2) 教育委員の活動状況	P2
3	点検評価報告書の位置づけ	P3
4	点検評価について	P4
	(1) 点検評価の方法	P4
	(2) 施策一覧	P5
	(3) 点検評価報告書の見方	P6
5	具体的な取組	
	目標 1. 豊かな心を育む教育	P8
	目標 2. 確かな学力を育む教育	P13
	目標 3. 健やかな体を育む教育	P23
	目標 4. 社会を生き抜く力を育む教育	P27
	目標 5. とともに学び育つ教育	P33
	目標 6. 学びを続ける機会づくり	P41
	目標 7. 学びを支える環境づくり	P45
	目標 8. 学びを活かす人づくり	P49
	目標 9. 安全安心で快適な教育環境づくり	P53
	目標 10. 地域全体で教育に取り組む体制づくり	P64
	[参考] 摂津市が配置等している支援人材一覧	P69

1. はじめに

小中学校の新学習指導要領が全面実施となり、教育の大きな変換期を迎えるなか、「令和の日本型学校教育」の構築を目指し、子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現が求められています。本市においても「主体的・対話的で深い学び」の実現、教科横断的な学習の充実のため、学力向上の基盤となる読解力などの言語能力や情報活用能力の育成に向けて、市内全小中学校で研究テーマを設定した研究授業等を実施し、教員の授業力向上を図る等の取組を進めています。

一方で、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかで、学校では、学習サポーター及びスクールサポーターの増員、ICTを活用したオンライン学習などの学びの保障を図るとともに、感染対策用備品の設置、業者による小中学校トイレの清掃など感染症対策に努めてまいりました。また、生涯学習においても、イベントや講座の中止、規模縮小が余儀なくされたものの、代替イベントの実施や感染症対策を講じながらの開催等コロナ禍での学習機会の充実に取り組みました。

今後、学校教育においては、小学校の35人学級の計画的な整備、小学校高学年で専門性の高い教科指導を行う教科担任制の推進など子どもの学びを支える教育環境の整備が必要となります。

また、生涯学習においても、人生100年時代、Society 5.0、DX（デジタルトランスフォーメーション）の進展、新型コロナウイルスの対応など社会が急速な変化を続け、予測困難な時代を迎えるなか、学び直しをはじめとする生涯学習の必要性が増大しており、学校教育以外の学びの機会の重要性が再認識されています。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、教育に関する学識経験者からのご意見をいただきながら作成したものです。この結果をふまえ、今後もより良い摂津市の教育の実現に取り組みます。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 教育委員会について

(1) 教育委員会の構成（令和3年度）

職名	氏名	最初の就任日 (任期満了日)
教育長	ハシオダニ トモヤ 箸尾谷 知也	平成25年4月1日 令和6年9月30日
教育長職務代理者	フクモト ミノル 福元 実	平成24年4月1日 令和7年3月31日
委員	オオヤ ユウコ 大矢 優子	平成20年3月8日 令和8年3月31日
委員	サカイ トモコ 坂井 知子	令和2年4月1日 令和6年3月31日
委員	フジムラ ユウジ 藤村 裕爾	令和2年12月24日 令和5年3月31日

教育長の任期は3年間、教育委員の任期は4年間

(2) 教育委員の活動状況

①教育委員会会議

令和3年度は定例会を12回開催しました。会議では、教育委員会規則の制定・改廃、教科書の採択、千里丘小学校区の児童数増加に向けた対応等について審議しました。また、教育委員会の事務に関する予算への意見の申出、学校における問題行動への対応や各種学力調査・体力調査の結果に対する助言など教育に関する事案について議論しました。

②教育委員による学校園の訪問等

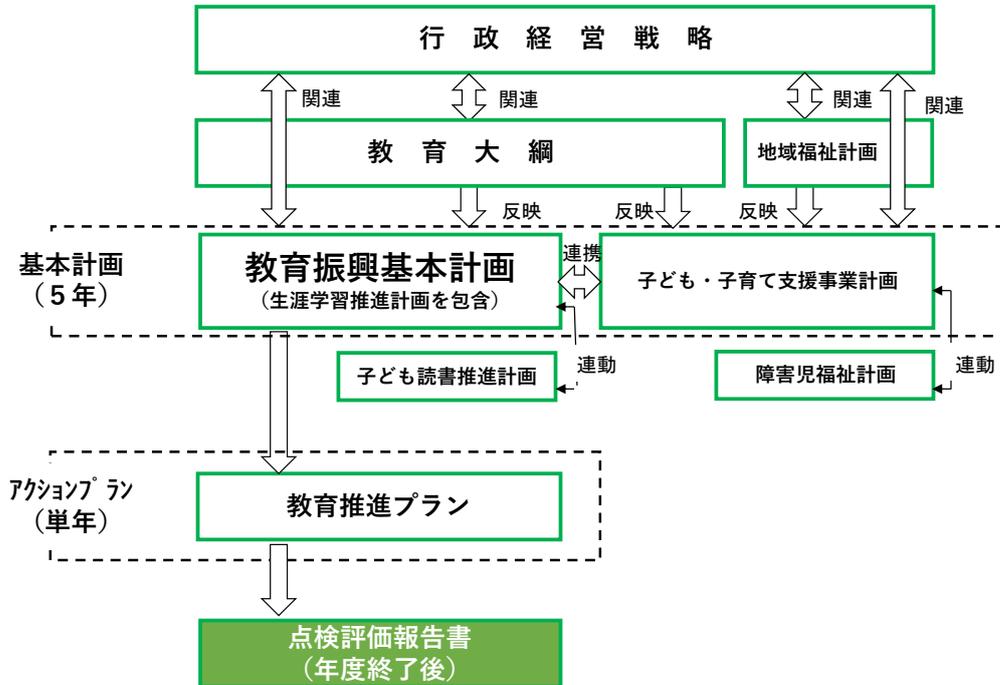
学校の現状や取組を把握するため、教育長及び教育委員が小中学校を訪問し、学校管理職や担当教員と意見交換を行いました。また学校園の学校経営にかかるヒアリングを行い、学校経営改善に向けた助言を行いました。

③行事等への出席

教育委員会主催行事のみならず、学校や団体の行事等にも積極的に参加しています。しかしながら、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、行事等の出席は最小限に留めました。

3. 点検評価報告書の位置付け

本市では、摂津市行政経営戦略*の「教育」に関する分野の計画である教育振興基本計画のアクションプランとして教育推進プランを位置づけています。本報告書は、教育推進プランに基づき、教育委員会に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行うものです。



※摂津市行政経営戦略

「摂津市総合計画」と「摂津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一本化し、市の分野の方向性・取組・目標を示した令和3年度から令和7年度までの5カ年計画

4. 点検評価について

(1) 点検評価の方法

点検評価にあたり、千里金蘭大学生生活科学部児童教育学科長 島善信氏と大阪つくば開成高等学校校長 白井 孝雄氏からご意見をいただき、報告書に反映しています。

施策及び事業の進捗は、基本目標ごとに設定した目標指標と事業ごとに設定した成果指標の達成状況で確認します。なお、事業（取組）は成果指標の達成状況及び取組により、下記の基準で評価します。

事業の評価基準

評価	基準
A	指標以上 ・ 指標を達成できたまたは上回った場合 ・ 指標達成と同等の成果を得られた場合
B	概ね指標通り ・ 指標を概ね達成できた場合 (複数ある指標のうち一部を達成できた場合等) ・ 指標に到達していないが、指標達成に向けて順調に(計画的に、年々改善されている等)取組が進められている。
C	指標に達しなかった ・ 指標を達成できなかった場合 ・ 課題があり、指標達成に向けて順調に取組が進められていない。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の中止や規模の縮小等を余儀なくされた事業は、代替事業の実施や感染症対策を講じた取組等をふまえて総合的に評価しています。

(2) 施策一覧

(★は重点事業*含む施策)

教育理念	基本方針	基本目標	施策	重点	ページ	
つながり 未来を拓く せつつの教育	1. 一人ひとりの「生きる力」を育みます ～学校教育・就学前教育の充実～	1 豊かな心を育む教育	① 道徳教育の推進		9	
			② 人権教育の推進		9-10	
			③ 読書活動の推進		11	
		2 確かな学力を育む教育	④ 授業改善の推進	★	14-18	
			⑤ 学習内容・学習習慣の定着	★	20-22	
			⑥ 就学前教育・小中一貫教育の推進		22	
		3 健やかな体を育む教育	⑦ 運動意欲の向上・基本的な生活習慣の定着		24	
			⑧ 学校体育・部活動の推進		25	
		4 社会を生き抜く力を育む教育	⑨ 新たな教育の推進	★	28-32	
			5 とともに学びに育つ教育	⑩ 支援教育の推進	★	34-35
				⑪ 相談体制の充実		36-37
		6 学びを続ける機会づくり	⑫ 生徒指導の充実	⑫ 生徒指導の充実	★	38-40
				⑬ 多様な学習機会の充実		42-44
			7 学びを支える環境づくり	⑭ 学習成果の発表・活躍の場の充実		46-47
		⑮ 社会教育施設の活用			47-48	
	2. 人生100年時代の学びと活躍を推進します ～生涯学習の推進～	8 学びを活かす人づくり	⑯ 多様な主体による指導者の育成	★	50-51	
			9 安全安心で快適な教育環境づくり	⑰ 教育施設の整備	★	54-58
				⑱ 感染症の予防・対策	★	59-61
	3. 安全で安心な学びの場をつくりまします ～教育環境の整備～	10 地域全体で教育に取り組む体制づくり	⑲ 学校給食の安全衛生管理	★	62-63	
			⑳ 学校・家庭・地域の連携強化		65-66	
		㉑ 子どもの安全見守り活動の充実		67-68		

※重点事業（施策推進にあたり、令和3年度に重点的に取り組む事業【新規事業や拡充事業等】）

(3) 点検評価報告書の見方

基本目標 2 確かな学力を育む教育

基本目標 2 確かな学力を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標内容	R3 目標値	R3 実績値	R7 目標値
1	全国学力・学習状況調査の平均回答率の対全国比（全国を1とした場合）	(小6) 0.93 (中3) 0.94	(小6) 0.96 (中3) 0.95	(小6) 1 (中3) 1
2	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ¹⁾ （小6・中3平均）	65%	72.2%	73.5%

¹⁾ 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

摂津市教育振興基本計画に掲げる指標を記載しています。

「R3 実績値」には、指標に対する令和3年度の実績値を記載しています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
④ 授業改善の推進	学力・学習状況調査の分析をもとに、知識・技能と思考力・判断力・表現力を育むため、授業改善を中心とする学力向上の取組を行います。また、各校の課題に応じた研究活動を支援し、その成果を全校に普及します。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校教育用コンピューター事業 【重点】 ・学力向上推進事業 ・学校マネジメント支援事業 ・研修事業 ・学校教育相談員配置事業
⑤ 学習内容・学習習慣の定着	授業中の児童生徒の学習内容の理解を促進するための支援人材を学校に配置するとともに、学習習慣の定着を図るため、地域や家庭の事情等により、学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に学習支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業【重点】 ・学校マネジメント支援事業
⑥ 就学前教育・小中一貫教育の推進	子どもの学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を養うなど、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担う就学前教育の充実と、小学校生活への円滑な接続を図ります。 義務教育終了時点で、社会において自	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育推進事業 ・小中一貫教育推進事業

摂津市教育振興基本計画に掲げる施策と内容、施策に関連する事業（取組）を記載しています。

事業（取組）ごとに令和3年度の取組実績、今後の取組等を記載しています。
新規事業や拡充事業等は事業名の後ろに【重点事業】と標記しています。

④授業改善の推進

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ 一事業【重点事業】	予算額（取組内容 に係る予算額）	57,457千円（49,746千円）		
担当課	学校教育課	決算額（取組内容 に係る決算額）	58,755千円（50,597千円）		
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価	
コンピューター等のICTを活用した授業をほぼ 毎日実施している割合比【◆】		50%	13.2%	C	
取組実績	<p>各学校にICT支援員*を1名派遣し、授業でのICT機器の効果的な活用や 教育推進プランで設定した指標に対する実績値及び取組評価を記載し ています。</p> <p>材を活用した授業を実施し、効果的な活用や授業イメージの具体例を市内 小学校教員に示した。【写真1・2】</p>				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ICT支援員の活用及びICT教育推進リーダー教員を中心に、授業におかえるICT機器の活用事例を各学校に発信するとともに効果的な活用の研究を推進する。 普通教室でのICT機器の活用に留まらず、小学校体育館や特別教室等での活用を見据え、学校のICT環境を整備するとともに学校内全体でのICTを活用した魅力ある授業実践に向けた支援を行う。 				

基本目標 1 豊かな心を育む教育

基本目標 1 豊かな心を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標内容	R3 目標値	R3 実績値	R7 目標値
1	「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合 ^{【◆】} (小6・中3平均)	70.0%	69.6%	77.7%
2	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童生徒の割合 ^{【◆】} (小6・中3平均)	68.7%	72.7%	72.9%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
① 道徳教育の推進	答えが一つではない課題に児童生徒が道徳的に向き合い、共感性やコミュニケーション力、規範意識や人権意識など社会の一員として自立するためとなる基盤の力を育みます。	・道徳教育の充実
② 人権教育の推進	女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、在日外国人等にかかる人権問題に対して、発達段階に応じた学習を進め、身近な差別や偏見に気づく人権感覚の醸成を図ります。また、教職員の人権意識と指導力の向上を図ります。	・教職員人権問題研修事業 ・国際理解教育推進事業 ・日本語指導教育事業
③ 読書活動の推進	読書活動を推進し、児童生徒の言語能力を高めるとともに、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きていく力を身に付けるよう支援を行います。	・小中学校管理運営事業 ・学校読書活動推進事業

基本目標 1 豊かな心を育む教育

① 道徳教育の推進

事業（取組）名	道徳教育の充実	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
道徳教育に関する研修会開催回数		5 回	2 回	C
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「特別の教科道徳」の授業改善に向け、道徳教育推進教師*等を対象とした教育内容や評価方法に関する研修を実施したが、教職員のニーズに沿った研修を複数回実施することができなかった。 ・小中学校が作成する道徳教育の全体計画や年間指導内容実績表等により、各校の道徳教育の進捗状況を把握した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、小中学校での「特別の教科道徳」を要とした道徳教育の充実のため、道徳教育推進教師等を対象とした授業づくりの研修や研究授業等を実施して、指導力向上を図る。 			

※道徳教育推進教師：指導計画の作成、教材の整備・充実など道徳教育の推進を主に担当する教師

② 人権教育の推進

事業（取組）名	教職員人権問題研修事業	予算額（取組内容に係る予算額）	110 千円（60 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	99 千円（60 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
①人権教育研修実施回数		3 回	3 回	B
②市職員アンケートで「各学校で人権教育の課題が共有され、課題に向けて指導にあたっている」と肯定的回答をした教職員の割合		77.9%	77.4%	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府教育庁指導主事や大学教授等を講師として招き、市内小中学校の教員を対象とした障がい理解教育及び LGBTQ、同和教育についての研修を実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の背景等を踏まえた児童生徒理解を深めるために、引き続き教職員対象の人権教育研修を実施する。 			

基本目標 1 豊かな心を育む教育

事業（取組）名	国際理解教育推進事業	予算額（取組内容に係る予算額）	1,880 千円（1,880 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	1,637 千円（1,637 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
「外国人と友達になったり、外国のことについてももっと知ったりしてみたい」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】		65.5%	—(*)	—
取組実績	・多文化共生教育や国際理解教育を推進するために、総合的な学習の時間や民族子ども会の時間に国際理解教育社会人講師*を派遣し、国際社会を生きるための資質・能力を育成した。			
今後の取組	・引き続き社会人講師を派遣し、児童生徒が国際社会の一員として多文化共生を推進するための資質・能力を育成する。			

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

(*)令和3年度から全国学力学習状況調査質問項目から削除されたため、実績値は-としています。

事業（取組）名	日本語指導教育事業	予算額（取組内容に係る予算額）	4,667 千円（4,667 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	4,225 千円（4,225 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
日本語指導講師*派遣時間数		850 時間	1,207 時間	A
取組実績	・外国語を母語とする児童生徒に対する日本語習得の指導のため、日本語指導講師を10名派遣した。また、家庭内で日本語による会話ができるよう保護者に対する日本語指導を行った。			
今後の取組	・引き続き日本語指導講師を派遣し、外国語を母語とする児童生徒の学習保障を支援する。			

*の説明は69頁に記載しています。

基本目標 1 豊かな心を育む教育

③読書活動の推進

事業（取組）名	小中学校管理運営事業	予算額（取組内容に係る予算額）	102,517 千円（7,703 千円）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	101,981 千円（7,696 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
学校図書館図書標準*を達成している学校数		9 校/15 校	9 校/15 校	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校 15 校で約 5,000 冊の新規購入及び約 1,000 冊の寄贈により、学校図書館の蔵書冊数が増加した。 ・古くなった図書を約 3,800 冊廃棄した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新たな図書の購入、古い本の廃棄や買い替え等を行い、学校図書館整備の充実を図る。 			

※学校図書館図書標準：文部科学省が定める学校図書館が整備すべき蔵書冊数

事業（取組）名	学校読書活動推進事業	予算額（取組内容に係る予算額）	18,291 千円（16,769 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	15,603 千円（14,092 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
「読書は好き」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】		68.8%	—(*)	—
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進サポーター*を市内小学校に配置し、学校図書館の蔵書整理、図書啓発のためのポスター等の制作や市立図書館との相互利用に取り組んだ。また中学校では、朝読書や各授業での調べ学習で積極的に学校図書館を利用するなど生徒が本に触れ合う機会づくりに取り組んだ。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進サポーター等による取組を通じて、子どもの読書意欲を高め、誰もが利用しやすい学校図書館づくりを推進する。また、市立図書館担当課や学校との連絡会にて、電子図書の相互利用について検討する。 			

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

(*)令和3年度から全国学力学習状況調査質問項目から削除されたため、実績値は-としています。

*の説明は69頁に記載しています。

基本目標 2 確かな学力を育む教育

基本目標 2 確かな学力を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標内容	R3 目標値	R3 実績値	R7 目標値
1	全国学力・学習状況調査の平均回答率の対全国比（全国を1とした場合）	(小6) 0.93 (中3) 0.94	(小6) 0.96 (中3) 0.95	(小6) 1 (中3) 1
2	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	65%	72.2%	73.5%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
④ 授業改善の推進	学力・学習状況調査の分析をもとに、知識・技能と思考力・判断力・表現力を育むため、授業改善を中心とする学力向上の取組を行います。また、各校の課題に応じた研究活動を支援し、その成果を全校に普及します。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校教育用コンピューター事業 【重点】 ・学力向上推進事業 ・学校マネジメント支援事業 ・研修事業 ・学校教育相談員配置事業
⑤ 学習内容・学習習慣の定着	授業中の児童生徒の学習内容の理解を促進するための支援人材を学校に配置するとともに、学習習慣の定着を図るため、地域や家庭の事情等により、学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に学習支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業【重点】 ・学校マネジメント支援事業
⑥ 就学前教育・小中一貫教育の推進	<p>子どもの学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を養うなど、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担う就学前教育の充実と、小学校生活への円滑な接続を図ります。</p> <p>義務教育終了時点で、社会において自立して生きる力を育むために、一貫した目標のもとで9年間の義務教育を計画的に行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育推進事業 ・小中一貫教育推進事業

基本目標 2 確かな学力を育む教育

④授業改善の推進

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ 一事業【重点事業】	予算額（取組内容 に係る予算額）	57,457 千円（49,746 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容 に係る決算額）	58,755 千円（50,597 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
コンピューター等の ICT を活用した授業をほぼ 毎日実施している割合比【◆】		50%	13.2%	C
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 各学校に ICT 支援員★を 5 名派遣し、授業での ICT 機器の効果的な活用や事務処理の作業効率向上のための研修を定期的実施した。 ICT 教育推進リーダー教員 2 名が令和 4 年度に導入するプログラミング教材を活用した授業を実施し、効果的な活用や授業イメージの具体例を市内小学校教員に示した。〔写真 1・2〕 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ICT 支援員の活用及び ICT 教育推進リーダー教員を中心に、授業におかえる ICT 機器の活用事例を各学校に発信するとともに効果的な活用の研究を推進する。 普通教室での ICT 機器の活用に留まらず、小学校体育館や特別教室等での活用を見据え、学校の ICT 環境を整備するとともに学校内全体での ICT を活用した魅力ある授業実践に向けた支援を行う。 			

※ICT 教育推進リーダー教員：ICT 機器を使用した授業を先進的に取り組み、各学校の活用事例を他校に広めるために中心となる教員

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

★の説明は 69 頁に記載しています。

基本目標 2 確かな学力を育む教育

[写真 1] 各教科の ICT 活用事例 (小学 3 年生 習字)

見合って見撮って見比べて
 摂津市立別府小学校

教科: 国語(書写) 単元名: ひらがなの筆使い (題材: つり)

本時のねらい
 3 学期初めでの毛筆の授業を、空想に注意しながら楽しむ。また、ひらがなを書く時の筆づかいに注意しながら書く。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい
 ICT 機器を活用して、字を書いた時の姿勢を撮影させる。
 自分が見ている筆づかいを動画から、自分の筆づかいを見比べ、よりよい字を視覚的にわかりやすく書けるようにする。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等
 3 年生書写デジタル教材 iPad 電子黒板 iロイノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT
導入 (10分)	・本時に取の前もデータを受け取る。 ・本時の流れを確認する。 ・毛筆を使用するときの机の上の準備の写真を写しながら、準備をする。準備ができたら写真をとり、見本と見比べる。	・企業に電子黒板で撮影可能な児童の姿勢を iPad で写真撮影の機能によって楽に準備ができる
展開 (50分)	・習字を書く時の正しい姿勢を動画で確認し、ペラの机に自分の姿勢を写真で撮ってもらい、「体がななめなってるよ」「足はわが前だよ」「1 つの文字を書いている自分の筆づかいをペラの机に撮ってもらい、見本の筆づかいと自分の筆づかいを見比べ、筆先を意識しながら「つり」の練習をする。 ・半紙に「つり」を 2 枚書き、今日の学びを振り返り、筆先を意識しながら「つり」の練習をする。	・正しい姿勢について正確な確認の持ち方の写真を iPad で撮影し、自分の姿勢と見比べることによって筆の握り方や筆先意識ができる。
まとめ (30分)	・半紙に「つり」を 2 枚書き、今日の学びを振り返り、筆先を意識しながら「つり」の練習をする。 ・2 枚のうち、自分が得意な筆づかいを提出する。 ・習字練習を終わらせる。	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子

見本を見ながら机に出すものを準備している iPad で正しい姿勢の写真を撮る場面

児童生徒の反応や発言
 ・時間をかけて筆づかに意識し、ながながと時間を設定したことで、前回は文字と比べると横線に丁寧な白い線が引かれる光景は、筆先の動きのイメージをもち、「つり」の曲がりやばらに注意して、毛筆が得意な児童は、iPad の動画を撮る際に、相手に教えながら撮っていたり、自分が動画に取られることを、自分の特技を生かせる機会になっていた。

授業者の声へ参考にしてほしいポイント
 ・前回は毛筆の時間で課題にした、「筆先や筆づかいを意識せずに書いている」や「自分の書き方、筆のアップ」などして、字を書いている元の動画を iPad で撮影する活動を取り入れた。
 ・今回は 3 学期初めの習字として、準備物や姿勢、書き方を ICT 機器を活用して確認しながら取り組むことができた。
 ・特に、自分が課題の文字を書いている字元を動画でとってもらい、見本の書き方と見比べる作業は、1 学期から継続して行うことで筆先を意識して字を書く児童が増えていくと感じた。
 ・書き方の動画に、個人で行った活動が多かったが、あえて授業中でやり取りしながら行うことで、自分たちでお互いにアドバイスをしながらよりよい字が書けるように活動できたように思う。児童が得意に思えることで、教員は、配慮や支援が必要な児童に対し、個別に対応し、当該の児童が自信を持って取り組めるように支援することができた。

- ・小学 1 年生から中学 3 年生までの各教科における効果的な ICT の活用について示されている。
- ・事例では、習字を書く時の正しい姿勢ができていないか、正しい筆の使い方ができているかを友だちに動画を撮影してもらい、客観的に自分の姿勢を見るなどの支援を行っている。
- ・授業者の声では、「筆先の意識ができるようになった」などの ICT を活用しないときに比べて、「意識させたいねらいにせまることができた」といった意見があった。

[写真 2] プログラミング教材 (Root) を活用した授業の様子



摂津市教育委員会 Youtube チャンネルより

基本目標 2 確かな学力を育む教育

事業（取組）名	学力向上推進事業	予算額（取組内容に係る予算額）	30,175 千円（5,500 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	28,836 千円（4,607 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
①意識調査※ ¹ （3月実施）で「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合		45.2%	48.3%	B
②学年毎の同一集団で摂津学力定着度調査※ ² 及び府中学生チャレンジテスト結果が前年度以上の学年数		(小) 75% (全学年100学年のうち75学年) (中) 40% (全学年30学年のうち12学年)	(小) 52% (全学年100学年のうち52学年) (中) 27% (全学年30学年のうち8学年)	
③全国学力・学習状況調査の平均無回答率の対全国比		(小) 1.50 (中) 1.30	(小) 0.93 (中) 1.17	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津市学力定着度調査及び府中学生チャレンジテスト等の結果分析に基づき、各学校における相互授業参観やテストの点数にもこだわる指導の取組を支援した。 ・全小中学校での研究授業や研究発表会等での研修を支援した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津学力定着度調査では、国語・算数の平均正答率が全国参加者平均と同程度の結果であった。また、全国学力・学習状況調査の無回答率は全国に比べて低い傾向が見られた。引き続き、児童生徒の学習意欲の向上のため、日々の授業改善に取り組む。 ・府中学生チャレンジテストでは、同一集団での対府比平均正答率が、多くの学年・教科で下回っている。引き続き、各学校や各教科での結果分析に基づき、課題に応じた授業改善の取組を推進する。 ・既習内容の定着のため、授業と家庭学習の連動した学びを推進する。 			

※1 意識調査：児童生徒の学習意欲等を把握し「魅力ある学校づくり」を進めるために市教育委員会が実施するアンケート調査

※2 摂津市学力定着度調査：児童生徒の定着状況を経年変化で把握し今後の指導に活かすために市教育委員会及び各学校が実施する学力調査（対象：小学1年生から6年生まで）

基本目標2 確かな学力を育む教育

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業	予算額（取組内容に係る予算額）	134,256千円（7,200千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	110,252千円（6,907千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
意識調査（3月実施）で「授業がよくわかる」と回答した児童生徒の割合		48.7%	50.8%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・4小中学校（千里丘小学校、鳥飼西小、第一中学校、第二中学校）を研究重点校と位置付け、研究計画の策定から研究授業・研究協議の実施までを支援した。また、重点校以外の学校への取組普及に向けて、取組成果を発信した。 ・市内全小中学校で研究発表会を実施する際の指導・助言、講師派遣等の支援を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校での研究発表会等の定期的な実施が、教職員の授業研究に対する意識の向上につながるため、引き続き学校に対する指導助言を行い、授業改善の取組を支援する。 			

事業（取組）名	研修事業	予算額（取組内容に係る予算額）	1,200千円（1,200千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	601千円（601千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
教職員研修参加者アンケート「研修のねらいを達成できたと思いますか」への肯定的回答の割合		98%	99%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の授業づくりや学級経営の充実に向け、令和3年度は主に「授業改善」をテーマとしたサマーセミナーを全5講座、ウインターセミナーを全3講座開催するとともに、小中学校全体研修会を実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教職員の経験年数に応じたステージ別研修や教育課題解決のための専門的な知識や技能の習得を図る課題別研修を実施する。 			

基本目標2 確かな学力を育む教育

事業（取組）名	学校教育相談員配置事業	予算額（取組内容に係る予算額）	12,098 千円（12,098 千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	11,232 千円（11,232 千円）	
指標		R3 目標値	R3 実績値	取組評価
各校長が学校経営計画で掲げた最重要取組の自己評価が B（概ね達成できた）以上あると回答する学校数		15 校/15 校	15 校/15 校	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校に学校経営サポーター★を 3 名配置し、校長及び教頭の学校運営や人材育成を支援した。 ・学校教育相談員★を 1 名配置し、初任者等経験の浅い教員に対して授業参観等を通じた授業づくりや集団づくり、生徒指導等に対する支援及び指導助言を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校教育相談員等の支援人材を派遣し、経験の浅い教員の資質の向上を図るとともに学校における諸課題の解決に向けて指導助言を行う。 			

★の説明は 69 頁に記載しています。

基本目標 2 確かな学力を育む教育

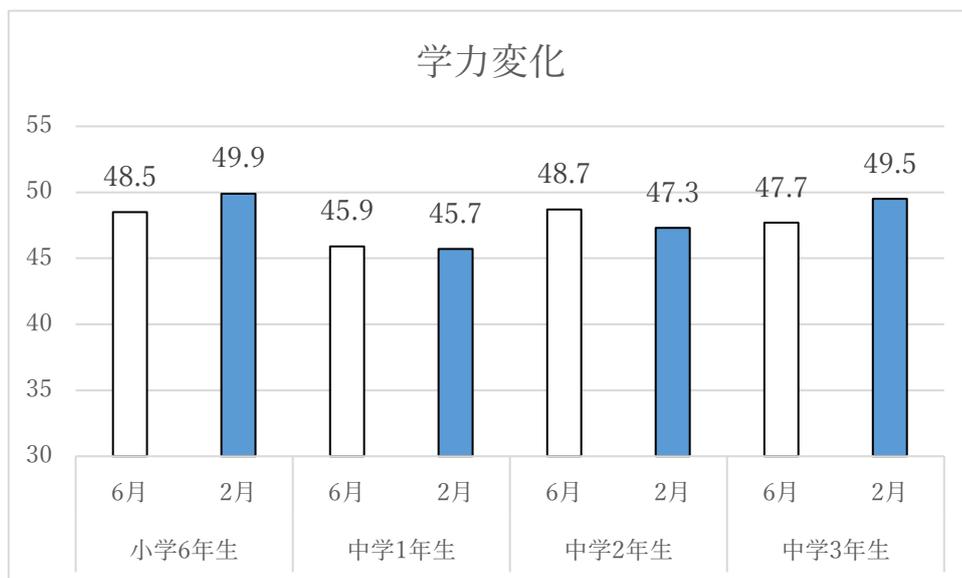
⑤ 学習内容・学習習慣の定着

事業（取組）名	学力向上推進事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	30,175 千円（23,490 千円）		
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	28,836 千円（23,477 千円）		
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価	
①受講生の学力の向上（6月現状値を1.0とする*）[グラフ1] ※塾内全体の理解度確認テスト平均正答率との比較		小6・中1・ 2・3の全学 年1.05以上	小6 1.02 中1 0.99 中2 0.97 中3 1.03	A	
②平日及び休日に1時間以上学習する児童生徒の割合の増加（6月現状値を1.0とする*）[グラフ2・3]		平日・休日 ともに 1.20以上	平日 1.07 休日 1.32		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・南千里丘別館（商工館）の開室曜を増やし、市内6会場で年間60回「摂津SUNSUN塾」を開催した。延べ317名が受講した。 ・中学校3年生を対象に夏期・冬期講習を実施し、66名が参加した。 				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「摂津SUNSUN塾」を開催し、一人でも多くの児童生徒に支援が届くような形態及び個別最適な学びの充実に取り組む。 ・タブレットを活用した学習をはじめ、児童生徒の学習内容の理解促進や家庭での学習習慣の定着に向けて取り組む。 				

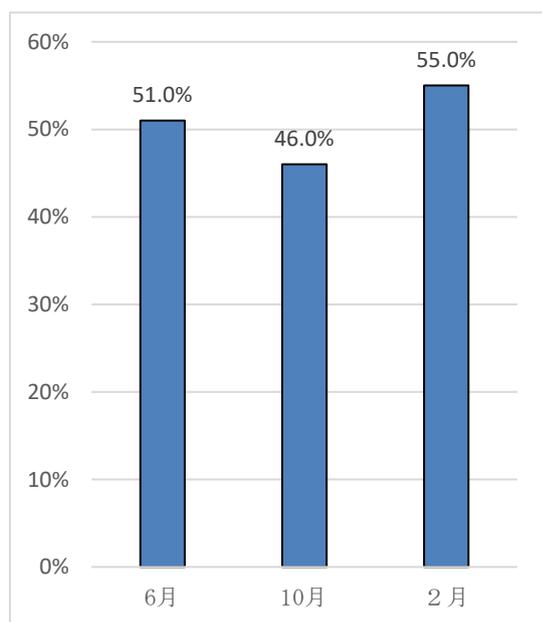
*例年5月に実施しているSUNSUN塾の学力調査テストとアンケートの初回を6月に実施したため、初回（令和3年6月）と最終回（令和4年2月）の結果を比較する。

基本目標 2 確かな学力を育む教育

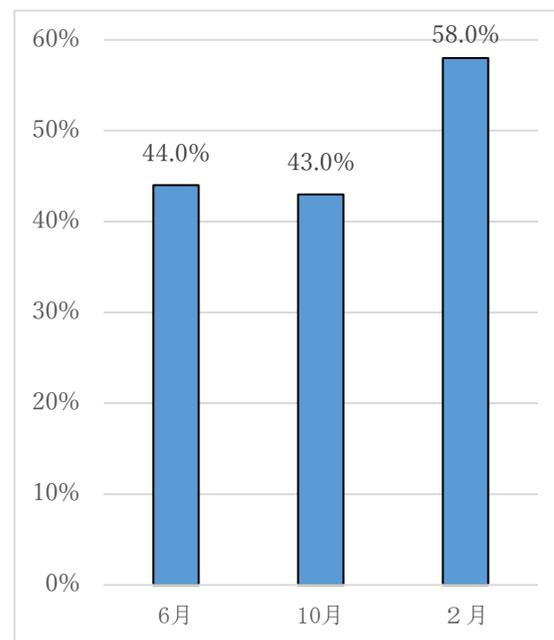
[グラフ 1] 令和3年度「摂津SUN SUN塾」受講生の学力



[グラフ 2]
平日 1 時間以上学習する児童・生徒の割合



[グラフ 3]
休日 1 時間以上学習する児童・生徒の割合



基本目標2 確かな学力を育む教育

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業	予算額（取組内容に係る予算額）	134,256千円（7,400千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	110,252千円（11,622千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
学習サポーター★派遣校数		15校/15校	15校/15校	A
取組実績	・感染症対策を講じながら、個別最適な学習を充実させるため、市内全小中学校に学習サポーターを延べ81名派遣した。			
今後の取組	・引き続き、感染症対策を講じながらの教育活動の充実のため、学習サポーターを全小中学校に派遣する。			

⑥就学前教育・小中一貫教育の推進

事業（取組）名	就学前教育推進事業	予算額（取組内容に係る予算額）	120千円（120千円）	
担当課	こども教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	60千円（60千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
研修アンケートにおける研修に対する肯定的な回答率		95.0%以上	96.2%	B
取組実績	・就学前施設職員と小学校教職員を対象に、「支援教育」をテーマとしたオンライン研修を2回実施した。			
今後の取組	・関係課と連携し、幼小連携・接続期に関する研修等も内容に組み入れ実施する。またそのなかで、就学前施設職員と小学校教員が交流し、課題について意見交換できるような場の設定も行う。			

事業（取組）名	小中一貫教育推進事業	予算額（取組内容に係る予算額）	327千円（80千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	197千円（92千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
「中学校区の学校と授業研究など合同した研修をよく行った」と回答した学校数		9校/15校	15校/15校	A
取組実績	・摂津市小中一貫教育推進協議会*を開催した。大学教授からの指導助言をもとに小中一貫指導計画を点検するとともに、「児童生徒間の暴力行為の増加」に対する小中連携について協議した。			
今後の取組	・引き続き、摂津市小中一貫教育推進協議会を開催し、小中9年間を一貫したねらいのもと課題について定期的に協議し、中学校区で連携した教育活動の充実を図る。			

※摂津市小中一貫教育推進協議会：義務教育9年間を見据えた「めざす子ども像」の実現に向け、小中学校の一貫した教育を推進する学識、学校、市教育委員会事務局の代表により構成された協議会

*の説明は69頁に記載しています。

基本目標 3 健やかな体を育む教育

基本目標 3 健やかな体を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標内容	R3 目標値	R3 実績値	R7 目標値
1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比【全国を1とした場合】(小5・中2平均・男女別)	(男) 0.96 (女) 0.96	(男) 0.94 (女) 0.94	(男) 1 (女) 1
2	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合(小5・中2平均・男女別)	(男) 67.5% (女) 46.9%	(男) 59.8% (女) 46.5%	(男) 69.5% (女) 51.2%

施策及び事業(取組)

施策	内容	事業(取組)
⑦ 運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着	子どもたちの運動意欲、体力の向上には、運動機会の増加と生活習慣の改善、そして何より体を動かすことが楽しいと感じることが重要です。子どもたちの健康教育・体力づくりを進め、生涯にわたる心身の健康の保持増進の基礎を培う支援を行います	<ul style="list-style-type: none"> ・運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進 ・小中学校給食事業
⑧ 学校体育・部活動の推進	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析をもとに、体力向上に向けた授業改善や体育活動を支援します。また、中学校における生徒の心身の健全な成長や社会性、団結力を高める部活動や、生涯を通じて運動に親しむ資質や能力を身につける取組の支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・全国・運動能力、運動習慣等調査 ・学校部活動等助成事業

基本目標 3 健やかな体を育む教育

⑦運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着

事業（取組）名	運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合（小5・中2平均・男女別）		(男)67.5% (女)46.9%	(男) 59.8% (女) 46.5%	C
取組実績	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査の結果から、児童生徒の運動習慣及び生活習慣の実態把握や分析を行った。			
今後の取組	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から児童生徒の体力の低下や生活習慣に課題があるため、担当者会での体力向上、運動習慣や生活習慣の改善に関する好事例の共有や指導主事による学校訪問等を行い、子どもたちの運動への興味関心及び体力向上に向けた取組、体力づくりの土台となる食事や睡眠などの基本的生活習慣の定着を図る			

事業（取組）名	小中学校給食事業	予算額（取組内容に係る予算額）	464,070 千円（—）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	430,817 千円（—）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
「えいようだより」及び中学校給食通信の発行回数		24 回	24 回	A
取組実績	・「えいようだより」及び中学校給食通信を定期的に発行し、児童生徒や保護者に給食に関する情報を提供した。			
今後の取組	・引き続き、児童生徒や保護者が日常生活において栄養バランスに配慮した食事を選択する力を育成できるよう、「えいようだより」や学校給食通信を定期的に発行する。			

基本目標 3 健やかな体を育む教育

⑧学校体育・部活動の推進

事業（取組）名	全国運動能力、運動習慣等調査	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
体力合計点の府平均点以上校数		8 校/15 校	3 校/15 校	C
取組実績	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から児童生徒の運動習慣や生活習慣の実態把握及び分析結果を共有し、各学校での体力づくり推進計画（アクションプラン）作成を支援した。			
今後の取組	・指導主事等が巡回し、体育授業参観及び指導助言、各学校の実態に応じた児童生徒の体力向上に向けた授業改善を支援する。また、体力向上に係る取組みの好事例等を全小中学校に共有する。			

事業（取組）名	学校部活動等助成事業	予算額（取組内容に係る予算額）	4,965 千円（2,624 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	2,917 千円（1,246 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
部活動指導員派遣校数（市内中学校）		5 校/5 校	5 校/5 校	A
取組実績	・生徒の健康や安全に留意した部活動運営を支援するため、学校教育相談員*による部活動顧問への巡回指導を 10 回実施した。 ・部活動指導員*5 名を派遣し、生徒が部活動を通じた心身の健全な成長や社会性・団結力の向上及び運動に親しむ資質能力を身につけるための支援を行った。			
今後の取組	・安全な部活動運営の支援のため、引き続き学校教育相談員による部活動顧問への指導・助言等の巡回指導を実施する。 ・専門的な指導による生徒の技術力向上及び心身の健全な成長のため、引き続き部活動指導員を派遣する。			

*の説明は 69 頁に記載しています。

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標内容	R3 目標値	R3 実績値	R7 目標値
1	「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} (小6・中3平均)	71.3%	67.2%	74.7%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑨ 新たな教育の推進	子どもたちが社会の変化に柔軟に対応し、課題を自ら解決する力、グローバル化や情報化社会に対応できる言語能力や情報活用力など、自らの可能性を發揮し、よりよい社会の創り手となるための教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育推進事業【重点】 ・キャリア教育の推進【重点】 ・小中学校教育用コンピューター事業 ・防災教育の推進

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

⑨新たな教育の推進

事業（取組）名	英語教育推進事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	29,284 千円（29,284 千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	26,806 千円（26,806 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
①英語教育に係るアンケート（市内全児童対象）で「英語を話せるようになりたい」と肯定的回答をする児童の割合		87.0%	86.0%	B
②英語が CEFR A1*相当以上である生徒の割合（対象：市内中学校に在籍する 3 年生）		50.0%	50.1%	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学 3 年生を対象とした実用英語検定受験料の全額補助を行い、合計 289 名が受験した。さらに「CEFR* A1」相当以上の英語力を有する生徒の割合が前年比 2.4%増加した。[表 1] ・ 全小学校で教員の授業づくりへの助言及び支援を行う外国語活動支援員*を 1 名派遣した。 ・ 外国人英語指導助手（ALT）*を派遣し、小学校で「English Day*」を年間 12 回開催するとともに、教育センターで中学生を対象とした「English Week*」を 4 日間開催した。[写真 1・2] ・ インターネットを介した海外の同世代の子どもとの交流の機会を新たに設けた。[写真 3] 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用英語検定への受験が英語に対する生徒の学習意欲の向上につながると考えられるため、受験料の全額補助を継続する。 ・ 外国語及び外国語活動のさらなる授業改善のため、外国語活動支援員や ALT を活用した授業づくりに関する好事例を学校に発信するとともに研修や外国語教育担当者会等を実施する。 ・ 児童生徒の英語の実践力向上のため、引き続き「English Day」や「English Week」の開催、インターネットを介した海外の同世代の子どもとの交流を実施する。 			

※CEFR：語学のコミュニケーション能力別レベルを示す国際標準規格。CEFR A1 は実用英語検定 3 級と同程度のレベル

※English Day：小学生を対象とした ALT によるゲーム等を通じた英語によるコミュニケーション力や昼休みの放送を活用したリスニング力向上の取組

※English Week：中学生を対象とした ALT による英会話レッスン（英会話集中講座等）

*の説明は 69 頁に記載しています。

基本目標4 社会を生き抜く力を育む教育

[表1] CEFR A1 相当以上の英語力保持者の割合（摂津市 中学3年生）

H28	H29	H30	R1	R2	R3
28.7%	36.5%	33.3%	43.1%	47.7%	50.1%

[写真1] English Dayの様子



[写真2] English Weekの様子



[写真3] バンダバーグ市との国際交流の様子



基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

事業（取組）名	キャリア教育の推進【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
キャリア教育スタンダード*の作成		キャリア教育スタンダードの完成	市内全中学校で職種体験プログラムを実施	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校で、キャリアパスポート*を活用した小学校から高等学校までの子どもたち自身の変容や成長を自己評価する取組を実施した。 ・キャリア教育推進委員会を開催し、各学校におけるキャリア教育の取組状況を共有した。 ・市内全中学校において、職種体験プログラムを実施した。[表 1][写真 1] 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育スタンダードの作成に向けて、まずは子どもの発達段階に応じた体系表の作成が重要であるため、キャリア教育体系表の作成を進める。 ・児童生徒自身の成長の客観的評価が可能となるため、引き続きキャリアパスポートによる自己評価の取組を実施する。 ・引き続き、企業や市内団体等の協力を得ながら全中学校で職種体験プログラムを実施し、キャリア教育の推進を図る。 			

※キャリア教育スタンダード：キャリア教育の推進にかかる市内学校共通の指導計画

※キャリアパスポート：子ども達が小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる活動について記入し、記録を保管するポートフォリオ

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

[表 1] 令和3年度職種体験プログラム協力企業

協力企業様



第一中学校	大阪キャリアナリー製菓調理専門学校	第三中学校	株式会社Re-fa
	KCJ GROUP株式会社 キッザニア甲子園		KCJ GROUP株式会社 キッザニア甲子園
	住友ゴム工業株式会社		住友生命保険相互会社
	東武トップツアーズ株式会社		Terra Drone 株式会社
	丸大食品株式会社		ダイキン工業株式会社
	摂津市広報課	第四中学校	デジタルアーツ株式会社
	摂津市こども教育課		前村食品
	摂津市出産育児課		山形開発工業株式会社
株式会社VANS	摂津市防災危機管理課		
第二中学校	大阪キャリアナリー製菓調理専門学校	第五中学校	株式会社 永谷園
	株式会社カネカ		三洋商事株式会社
	Terra Drone 株式会社		住友生命保険相互会社
	デジタルアーツ株式会社		戸田建設株式会社
	有限会社 髪創		

敬称略

[写真 1] 職種体験プログラム 取組の様子

企業からのアドバイス
(TerraDrone 株式会社)



クリスマスドーナツの考案
(大阪キャリアナリー製菓調理専門学校)



基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ 一事業	予算額（取組内容 に係る予算額）	57,457千円（49,746千円）		
担当課	学校教育課	決算額（取組内容 に係る決算額）	58,755千円（50,597千円）		
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価	
「授業でもっとICTを活用したい」と積極的 回答をする児童生徒の割合【◆】		59.5%	61.5%	A	
取組実績	・児童生徒の情報活用能力を育むため、摂津市情報活用能力体系表*を作成した。				
今後の取組	・引き続き、ICT教育推進リーダー教員や各校のICT担当者を中心とした研修を実施し、情報活用能力体系表の見直し及び効果的な事例を共有する。				

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

※摂津市情報活用能力体系表：小1から中3までの各過程で必要な能力「ICTスキル」「プログラミング教育」「情報モラル」の到達点の目安を示したもの

事業（取組）名	防災教育の推進	予算額（取組内容 に係る予算額）	—		
担当課	学校教育課	決算額（取組内容 に係る決算額）	—		
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価	
市教職員アンケートで「防災教育の取組が進んで いる」と肯定的回答をした教職員の割合		R2実績値以上	—(*)	—	
取組実績	・市の防災タウンページを活用した防災授業、体育館を避難所とする訓練等各校で防災教育にかかる取組を実施した。さらに新たに防災リュックに関する知識と活用方法を学ぶ授業を行うとともに、防災教育の授業の取組を動画で配信した。				
今後の取組	・児童・生徒が災害を理解し、防災への関心を深めるため、引き続き防災教育の授業等を実施する。				

(*)アンケートを実施していないため、実績値は-としています。

基本目標5 とともに学び育つ教育

基本目標5 とともに学び育つ教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標内容	R3 目標値	R3 実績値	R7 目標値
1	「学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	78.5%	78.9%	83.9%
2	「学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	76.5%	—（*）	83.5%

【◆】 全国学力・学習状況調査における質問項目を指標としています。

（*） 成果指標2はR3から質問項目が削除となったため、実績値を-としています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑩ 支援教育の推進	障害の有無にかかわらず、全ての人が平等に生活し、活動する社会を目指すノーライゼーションの理念のもと、支援学級担任や教職員の専門知識や指導技術の向上を図り、子どもたちが互いに認め合う教育を推進します。	・特別支援教育推進事業【重点】
⑪ 相談体制の充実	児童生徒の多様性を専門家が多角的・多面的に分析し、見立てることで、学校における効果的な指導や支援の充実を図ります。また、子育て等の悩みや就学・進学相談など、個々のニーズに沿った支援を行います。	・就学児指導事業 ・教育相談事業 ・進路選択支援事業
⑫ 生徒指導の充実	いじめ・問題行動や不登校等の状況は、その背景が複雑化しています。学校が保護者・地域とのつながりをさらに強め、関係機関とも連携して、未然防止・早期対応・再発防止に努め、全ての児童生徒の安全・安心を確保する取組を進められるよう支援します。	・生徒指導体制推進事業【重点】 ・教育相談事業 ・適応指導教室事業

基本目標5 とともに学び育つ教育

⑩支援教育の推進

事業（取組）名	特別支援教育推進事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	41,168千円（41,168千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	32,924千円（32,924千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
特別支援教育推進専門員★による巡回相談の実施校		15校/15校	12校/15校	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育推進専門員を派遣し、小学校10校で76回、中学校2校で3回巡回相談を実施した。 ・摂津小学校、三宅柳田小学校、第一中学校をコンサルテーション実施モデル校*として位置づけ、特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりが必要とする支援の内容と方法を明らかにするため、専門家による指導助言を4回実施した。さらに教員の専門性を高めるため、自閉症・発達障害に関する研修やモデル校による実践報告会を実施した。[写真1] ・補聴援助システムを必要とする児童に対し、1台追加配備をした。[写真2] 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童生徒のニーズに応じた教育の推進及び教職員の指導力やアセスメント力向上のため、引き続き特別支援教育推進専門員による巡回相談を実施する。 ・引き続き、教員の児童生徒理解、アセスメント力及び個に応じた適切な指導の実践力の向上など学校全体の支援教育の充実を図るため、学校コンサルテーション*を継続する。また、実践報告会等で実践事例やコンサルテーションの成果を市内に発信する。 ・引き続き、補聴援助システムを追加配備するとともに、校外学習で使用するバスをリフト付きバスに変更する場合に必要な費用を新たに補助する等一人ひとりのニーズを踏まえた支援や環境整備に取り組む。 ・医療的ケア児の安全と教育の機会の確保のため、小中学校看護嘱託員の配置等に取り組む。 			

※コンサルテーション実施モデル校：専門家の指導のもと、学校全体で支援教育への取組を推進している先進校

※学校コンサルテーション：特別支援教育にかかわる専門性のある職員（特別支援教育推進専門員）が、研修及び小中学校への巡回相談を実施し、自閉症や情緒面に特製のある児童生徒への適切な支援について教職員へ指導助言を行う。

★の説明は69頁に記載しています。

基本目標5 とともに学び育つ教育

[写真1] 学校コンサルテーションの様子

(支援教育研修)



(実践報告会)



[写真2] 補聴援助システム「ロジャー」

「送信機」



話し手の声をマイクで集音し、受信機へ送信する。

「受信機」



補聴器に装着することで、送信機のマイクで拾った音をクリアに聞き取ることができる。

基本目標5 とともに学び育つ教育

⑪相談体制の充実

事業（取組）名	就学児指導事業	予算額（取組内容に係る予算額）	414 千円（414 千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	315 千円（315 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
支援学級入級または退級、及び支援学校転学を検討する児童生徒全員について教育支援会議を開催		対象児童生徒全員について実施	対象児童生徒全員について実施	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育関係者、福祉関係者、及び必要に応じて医師等で構成する教育支援会議を開催し、就学先の選択や学校における支援の手だてについて助言を行い、保護者の意思決定や各学校の支援学級の取組を支援した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き教育支援会議を開催し、「支援学級の入級又は退級」「支援学校転学」「通級指導教室の通室」を希望する児童生徒の就学先の選択や支援の手だてについて協議し、適切な学びの場を決定する。 ・令和4年度から就学前の保護者を対象とした就学相談説明会を開催し、摂津市における様々な学びの場での支援や就学までの流れについて理解を促す等丁寧な就学相談を進める。 			

事業（取組）名	教育相談事業	予算額（取組内容に係る予算額）	30,678 千円（30,678 千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	27,171 千円（27,171 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
保護者からの発達検査依頼に対する実施率		100%	100%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターに毎日心理相談員を配置し、児童生徒・保護者及び教職員からの教育や発達等に関する相談を実施した。《相談件数2,747件(前年比1,132件増)》 ・相談に対する早期解決に向けて、医療や福祉等の関係機関と連携し、相談内容の引継ぎやケース会議等を実施した。また、保護者から検査依頼があった160件全ての発達検査を実施し、その結果を家庭や学校へフィードバックするとともに児童生徒の特性に応じた支援を行うなど、早期支援につなげた。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教育センターに毎日複数名の心理相談員を配置し、児童生徒・保護者及び教職員の様々な悩みや相談に対し、早期対応や継続的な関わり等個々のニーズに沿った支援を行う。 			

基本目標5 とともに学び育つ教育

事業（取組）名	進路選択支援事業	予算額（取組内容に係る予算額）	107 千円（107 千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	65 千円（65 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
進路説明会における奨学金制度等の周知校数（中学校）		100%	100%	A
取組実績	・進路選択相談員★を1名配置し、全41件の生徒及び保護者からの相談について、個に応じた進路選択の支援を行った。			
今後の取組	・引き続き、進路選択相談員による進路選択支援を行うとともに奨学金制度のパンフレット配付等により相談窓口の周知を図る。			

★の説明は69頁に記載しています。

基本目標5 とともに学び育つ教育

⑫生徒指導の充実

事業（取組）名	生徒指導体制推進事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	22,661千円（22,661千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	16,762千円（16,762千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価 C
①暴力行為発生件数		107件 (R1比10%減)	359件	
②いじめ認知件数		105件 (R1比10%減)	284件	
③不登校児童生徒数		127件 (R1比10%減)	189件	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導事案の重篤化の防止に向け、生徒指導体制推進チーム*を全小中学校に合計22回派遣した。また、事案の早期解決のため、スクールロイヤー*の法律相談を24回実施した。 ・教職員の生徒指導事案に対する資質・能力の向上のため、各校の課題に応じた研修を実施した。 ・5中学校区にスクールソーシャルワーカー（SSW）*を5名配置し、教職員と連携した児童生徒及びその家庭の福祉的課題の解決に向けて支援した。また、不登校の未然防止を目的とした連絡会議を全中学校区で開催した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・暴力行為発生件数は小中学校ともに令和元年度から増加傾向が続いている。[グラフ1]コロナ禍での学校行事の中止やマスク着用によるコミュニケーションの取りづらさ等によるストレスが件数増加の一因と考える。また、特定の児童生徒による繰り返し事案も増加傾向にあるため、引き続き小中学校での組織的な対応や関係機関と連携した個に応じた支援に取り組む。 ・いじめの認知件数は前年度比202件増加した。[グラフ2]いじめ認知は、各学校において積極的な認知・対応が進んだものと考えられる。引き続き、積極的な認知によるいじめの早期発見早期対応を行い、重篤化防止を図る。 ・新規の不登校児童生徒数が前年比46人増加した。[グラフ3]新型コロナウイルスの感染不安による欠席者が増加し、不登校傾向にある児童生徒への初期対応に苦慮したこと等が増加の一因と考えられる。個別支援では、SSWなどの専門家と連携した組織的な取組を実施するとともに、集団指導では各校での「魅力ある学校づくり」効果検証等を踏まえ、課題解決に向けた取組となるよう支援する。 ・生徒指導事案の重篤化防止のため、引き続き生徒指導体制推進チームを学校へ派遣する。 ・引き続きSSWを配置し、学校内で福祉的な視点を用いた生徒指導体制を推進するとともに、児童生徒及びその家庭の福祉的課題の解決に向けた支援を行う。 			

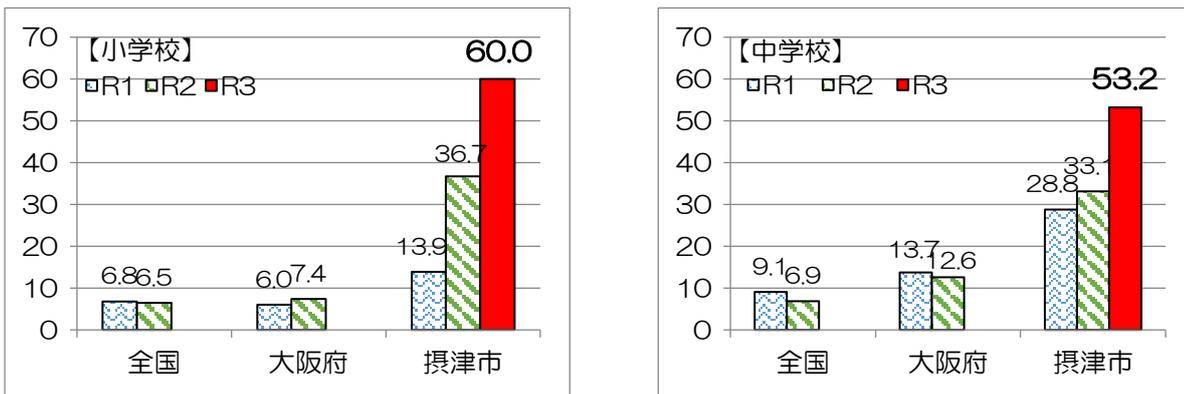
基本目標5 とともに学び育つ教育

※生徒指導体制推進チーム：小中学校において重篤化及び長期化する恐れのある生徒指導事案に対して、知識や技能、経験を有する者（学識経験者等）で構成した緊急支援チーム

※スクールロイヤー：学校で発生する様々な問題において、子どもの最善の利益を念頭に置き、法的観点から継続的に学校に助言を行う弁護士

*の説明は69頁に記載しています。

[グラフ1] 暴力行為発生件数の推移（千人率） R3年度の全国と大阪の件数は現在未発表



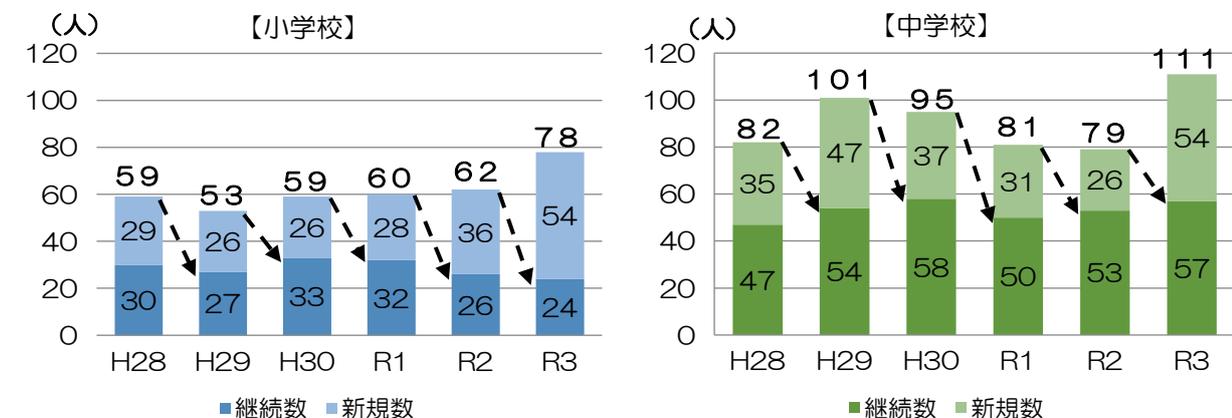
→小中学校ともに暴力行為件数が前年比約1.6倍増加した。

[グラフ2] いじめ認知件数の推移（千人率） R3年度の全国と大阪の件数は現在未発表



→いじめの認知件数が小学校では前年比約4倍、中学校では前年比約3倍増加した。

[グラフ3] 不登校新規・継続者数の推移



→小中学校ともに不登校者は増加している。特に中学校での新規不登校者数は前年比約2倍増加している。

基本目標5 とともに学び育つ教育

事業（取組）名	教育相談事業	予算額（取組内容に係る予算額）	30,678千円（30,678千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	27,171千円（27,171千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
学校におけるケース会議への関与率		100%	100%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校に週1日（学校規模に応じ週2日）スクールカウンセラー★を配置し、児童や保護者のカウンセリングや校内会議やケース会議等でアセスメントを実施した。 ・学校からの要望に応じて心理相談員を派遣し、ケース会議等でアセスメントを実施する等課題の早期解決に向けた支援を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き全小学校にスクールカウンセラーを配置し、児童や保護者の相談に対応するとともに、必要に応じて学校のケース会議へ心理相談員を派遣する。 			

事業（取組）名	適応指導教室事業	予算額（取組内容に係る予算額）	7,218千円（7,218千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	6,325千円（6,325千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
全欠の不登校児童生徒の割合		0.12%	0.13%	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の児童生徒に対する自立支援のため、パル（適応指導教室）での指導や小中学校や家庭へのさわやかフレンド★派遣を24人に対し、311回実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、パルでの指導や小中学校や家庭へのさわやかフレンド派遣を行う。また、新規不登校を生み出さない取組の一つとして、ソーシャルスキルトレーニング「リーフ」*を実施する。 			

※ソーシャルスキルトレーニング「リーフ」：児童が様々な場面での状況判断や問題解決を図るための全10回のプログラム。人間関係をうまく築くためのコツや自分と相手を大切にした対応について学ぶ。

*の説明は69頁に記載しています。

基本目標 6 学びを続ける機会づくり

基本目標 6 学びを続ける機会づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標内容	R3 目標値	R3 実績値	R7 目標値
1	公民館講座アンケートで「これからも受講を継続したい」と回答した割合	70%	88.3%	R3 実績値より増加

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑬ 多様な学習機会の充実	多様化するニーズに合わせた講座やイベント等の充実や学びのきっかけとなる情報提供及び相談体制の充実など、市民が学びつづける機会づくりを推進します。また郷土撰津を知り、地域の将来像を描くツールとして、本市の歴史をまとめた「新修撰津市史」を刊行します。	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座開催事業 ・家庭教育学級事業 ・生涯学習出前講座開催事業 ・生涯学習推進本部運営事業 ・文化財保護事業 ・撰津市史編さん事業

基本目標 6 学びを続ける機会づくり

⑬ 多様な学習機会の充実

事業（取組）名	公民館講座開催事業	予算額（取組内容に係る決算額）	3,057 千円（3,057 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	2,266 千円（2,266 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
公民館講座アンケートで「これからも受講を継続したい」と回答した割合		70%	88.3%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、「幼児・児童」「社会・経済」「人権・福祉」「平和・国際」「生活・環境」「自然・技術」「文化・芸能」7分野の講座を市内公民館で263回実施した。（令和2年度：203回） ・新規の受講促進のため、日曜日開催の講座を23回実施し、483名が参加した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の実施回数及び参加人数は増加しているが、コロナ禍での学習機会の充実のため、感染拡大防止対策や新しい生活様式に応じた内容や開催方法を検討し、実施する。 			

事業（取組）名	家庭教育学級事業	予算額（取組内容に係る決算額）	566 千円（566 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	212 千円（212 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
家庭教育学級アンケートで「今後の暮らしに活かせる」と回答した受講者の割合		70%	100%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・6団体が家庭教育学級を開設し、学習会を58回開催した。 ・ホームページでの家庭教育学級開設募集のお知らせや市役所窓口にチラシを設置し、広く団体及び参加者募集に対して周知した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、団体による家庭及び幼児・女性学級の学習会の開催回数は減少した。引き続き、感染症対策を講じながら学習会や合同交流会を開催し、家庭教育学級等を実施する団体同士のつながりを深める機会を提供する。 			

基本目標6 学びを続ける機会づくり

事業（取組）名	生涯学習出前講座開催事業	予算額（取組内容に係る決算額）	—	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
行政編受講者アンケートで「非常に満足」と回答した割合		60%	75%	A
取組実績	・「まいどおおきに出前講座」行政編を105回実施し、4,057名が受講した。			
今後の取組	・コロナ禍での学習機会の提供のため、オンラインやオンデマンド講座の導入について検討する。			

事業（取組）名	生涯学習推進本部運営事業	予算額（取組内容に係る決算額）	30千円（30千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	0千円（0千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
研修会参加者アンケートで「学びの場となった」と回答した割合		70%	—(*)	—
取組実績	・社会教育委員、公民館運営審議会委員、関係市職員など構成される生涯学習推進本部の研修会を中止した。			
今後の取組	・コロナ禍での研修実施のため、オンラインやオンデマンド講習等の実施方法を検討する。			

(*)研修会中止によりアンケート未実施のため、実績値は-としています。

基本目標6 学びを続ける機会づくり

事業（取組）名	文化財保護事業	予算額（取組内容に係る決算額）	3,134 千円（3,134 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	2,045 千円（2,045 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
文化財関連資料収蔵数		4,300 点	5,200 点	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・広く市民に摂津市の歴史を後世に伝えるため、「ふるさと摂津講座」を4回開催し、のべ49名が参加した。 ・ふるさと摂津案内人養成講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。 ・経年劣化した子安地蔵頭彰板（庄屋1-3）を修繕した。 ・他市から収集した文化財資料集を整理及び台帳記録を行った（延べ収集資料：3,958冊） 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策や新しい生活様式に応じた内容や開催方法を検討し、「ふるさと摂津講座」を実施する。 ・市内文化財保護のため、味舌天満宮（府指定文化財）の修繕計画作成を作成し、費用算出、補助金の確保を行う。 ・JR千里丘西口の開発及び阪急連立高架事業に伴う埋蔵文化財調査の実施及び関係機関との調整を行う。 			

事業（取組）名	摂津市史編さん事業	予算額（取組内容に係る決算額）	39,846 千円（39,846 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	35,150 千円（35,150 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
①『新修摂津市史 自然地理・先史・古代・中世編』の刊行		刊行済	刊行済	A
②本市に関連した歴史資料保存数		41,000 点	41,000 点	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・『新修摂津市史 自然地理・先史・古代・中世編』第1巻を刊行した。貴重な史料の収集・調査・整理を実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に『新修摂津市史 近世・近代編』第2巻刊行に向けて、編さんを行う。 			

基本目標 7 学びを支える環境づくり

基本目標 7 学びを支える環境づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標内容	R3 目標値	R3 実績値	R7 目標値
1	公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	70%	84.3%	R3 実績値より増加
2	図書館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	70%	85.7%	R3 実績値より増加

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑭ 学習成果の発表・活躍の場の充実	学習意欲向上のため、イベントや講座等で日頃の学習成果の発表の場を充実します。また、市内で開催されている講座やボランティア活動等の情報を発信するとともに、身に付けた知識・技能を活かし、人が学び合いお互い高め合う継続した学びを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館まつり事業 ・生涯学習フェスティバル開催事業 ・こどもフェスティバル開催事業
⑮ 社会教育施設の活用	公民館は、生涯学習活動及び地域コミュニティ活動の拠点として、より多くの市民が活用できるよう、空室の有効活用等を行います。また、市民図書館及び鳥飼図書センターの図書館サービスの充実を図り、地域全体の教育向上に資する展開を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営事業 ・図書館運営事業 ・子ども読書活動推進事業

基本目標7 学びを支える環境づくり

⑭学習成果の発表・活躍の場の充実

事業（取組）名	公民館まつり事業	予算額（取組内容に係る決算額）	160千円（160千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	69千円（69千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
公民館まつり参加団体アンケートで「活動の成果を發揮できた」と回答した割合		70%	—(*)	—
取組実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公民館まつり実行委員会の判断により中止となったが、代替の取組として、各クラブの作品展示や活動風景のスライドショーを各公民館ロビーで実施した。			
今後の取組	・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの「公民館まつり」開催に向けた取組を実施する。			

(*)公民館まつり中止によりアンケート未実施のため、実績値は-としています。

事業（取組）名	生涯学習フェスティバル開催事業	予算額（取組内容に係る決算額）	1,356千円（1,356千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	150千円（150千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
生涯学習フェスティバル参加団体アンケートで「活動の成果を發揮できた」と回答した割合		70%	92.3%	A
取組実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」は規模を縮小し、ペットボトルアート作品を中心とした「ペットボトルアート作品展」及び優秀なアート作品を決める「ペットボトルアート写真コンクール」を開催した。 ・「コロナ過の市民活動及び福祉について考える」をテーマに「生涯学習フェスティバル市民のつどい」を開催した。			
今後の取組	・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら「ろうそくファンタジー」と「生涯学習市民のつどい」を開催する。 ・市民活動の活性や意欲向上のため、生涯学習フェスティバル実行委員会の自立を促す取組を検討する。			

基本目標7 学びを支える環境づくり

事業（取組）名	こどもフェスティバル開催事業	予算額（取組内容に係る決算額）	3,493千円（3,493千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
こどもフェスティバル参加者数		13,500人	—(*)	—
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大のため、準備期間や参加者の安全を考慮し実行委員会の判断により中止とした 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、こどもたちの健やかな成長や親と子のふれあいを深める機会づくりのため、「こどもフェスティバル」を開催する。 市民活動の活性や意欲向上のため、こどもフェスティバル実行委員会の自立を促す取組を検討する。 			

(*) こどもフェスティバル中止によりアンケート未実施のため、実績値は-としています。

⑮社会教育施設の活用

事業（取組）名	公民館運営事業	予算額（取組内容に係る決算額）	34,920千円（34,920千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	27,859千円（27,859千円）	
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価
公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合		70%	84.3%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 各公民館で図書の新規購入及び入替作業を実施した。 空室の有効利用の手段として、安威川公民館で空室の一部を自習室として開放することを検討した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 空室の開放について、新型コロナウイルス感染症対策を講じた実施方法を検討する。 			

基本目標7 学びを支える環境づくり

事業（取組）名	図書館運営事業	予算額（取組内容に係る決算額）	132,422 千円 (132,422 千円)	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	132,337 千円 (132,337 千円)	
指標		R3 目標値	R3 実績値	取組評価
図書館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合		70%	85.7%	A
取組実績	・令和3年4月から6月の緊急事態宣言時は図書館が完全休館となったが、市民の読書環境の維持のため、休館中においても予約資料の貸出を実施した。			
今後の取組	・引き続き、感染症予防対策を講じながら、図書館の有効活用と図書館サービスの充実に向けた取組を実施する。また令和4年度から開始する電子図書館のサービスの充実を図る。			

事業（取組）名	子ども読書活動推進事業	予算額（取組内容に係る決算額）	—	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R3 目標値	R3 実績値	取組評価
子ども（0歳～18歳）の図書館利用者登録率		30.0%	23.9%	C
取組実績	<p>・新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数の制限を行いながら、おはなし会を開催した。令和3年度は83回（前年比+12回）開催し、延べ439人（前年比+174人）が参加した。</p> <p>・感染症対策を講じながら、ぬいぐるみお泊り会や絵本を使ったカルタ会、「本の福袋」などのイベントを実施した。また、ビブリオバトルの代替イベントとして「POPで広げよう読書の輪」を実施した。</p>			
今後の取組	・図書館への来館できない場合にも、図書館資料が利用しやすい仕組みづくりを検討する。			

基本目標 8 学びを活かす人づくり

基本目標 8 学びを活かす人づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標内容	R3 目標値	R3 実績値	R7 目標値
1	生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」と回答した割合	70%	100%	R3 実績値より増加
2	生涯学習大学受講者アンケートで「今後、地域や社会活動に役立てたい」と回答した割合	70%	100%	R3 実績値より増加

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑯ 多様な主体による指導者の育成	講座などをきっかけとした仲間づくり、絆づくりを進め、「学ぶ人」から「指導者」への学習活動の担い手を育成します。また、地域における学習活動の活発化を図るため、地域・団体活動のリーダー、コーディネーター、ボランティア等の人材を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年団体育成事業【重点】 ・青少年リーダー養成事業 ・せつつ生涯学習大学事業

基本目標 8 学びを活かす人づくり

⑩多様な主体による指導者の育成

事業（取組）名	青少年団体育成事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	2,790千円（2,000千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	0千円（0千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
淀川わいわいガヤガヤ祭の来場者数		7,000人	—(*)	—
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川わいわいガヤガヤ祭の開催に向けて、機材調達や一部業務委託などの開催方法提案や事務支援を行ったが、主催団体である「淀川わいわいガヤガヤ祭実行委員会」により新型コロナウイルス感染症防止の観点から、中止が判断された。 ・こども会育成連絡協議会、ガールスカウト、ボーイスカウト等地域で主体的に活動する団体の取組を支援した。各団体が行う市単位の活動は子どもたちが異なる学年や校区と交流する機会に繋がり、また保護者、指導者にとっても交流や情報交換の場となった。[写真1] 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、青少年団体の自立した組織運営と財政運営への事務的支援を行う。 			

(*)淀川わいわいガヤガヤ祭が中止となったため、実績値は-としています。

[写真1]

(こども会親善スポーツ大会の様子)

(青少年指導員の活動

鳥飼西小学校区 トールペイントづくり)



基本目標 8 学びを活かす人づくり

事業（取組）名	青少年リーダー養成事業	予算額（取組内容に係る予算額）	2,908 千円（2,908 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
青少年リーダー養成事業参加者アンケートで「楽しかった」と回答した割合		70%	—（*）	—
取組実績	・コロナ禍での宿泊を伴う野外体験活動が、参加者児童の安心安全の確保が難しい状況であったため、夏、冬のチャレンジャークラブ及び冒険プログラム講習会は、中止とした			
今後の取組	・従来 of 取組を継承しながら、コロナ禍でも実施可能なプログラム内容の見直しや新たな事業・講習会を検討する。			

（*）チャレンジャークラブ及び冒険プログラム講習会が中止となったため、実績値は-としています。

事業（取組）名	せつつ生涯学習大学事業	予算額（取組内容に係る予算額）	471 千円（471 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	288 千円（288 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」と回答した割合		70%	100%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・せつつ生涯学習大学を全 13 回開催し、生涯学習リーダーやコーディネーター養成のため、学習活動の機会を提供した。（受講者数 5 人） ・せつつ生涯学習大学院を全 3 回開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、受講者が例年より減少したが、引き続き感染症対策を実施しながら、生涯学習リーダーやコーディネーターを養成するため、せつつ生涯学習大学を開催する。 			

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標内容	R3 目標値	R3 実績値	R7 目標値
1	保護者アンケートで「学校は安全安心に配慮した施設・設備・環境を整えている」と肯定的回答をした割合	70%	87%	R3 実績値より増加

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑰ 教育施設の整備	老朽化が進む施設の改修や、安全安心で快適な教育環境・生活環境の整備、地域住民の避難所としての防災機能の強化を図ります。また児童生徒のより良い教育環境を整えるため、学校規模及び配置の適正化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校施設改修事業【重点】 ・小中学校通学区事業【重点】 ・公民館施設改修事業【重点】 ・図書館施設管理運営事業・鳥飼図書館センター施設管理事業
⑱ 感染症の予防・対策	学校は児童生徒が集団生活をしており、また新型コロナウイルスをはじめとする感染症が発生、拡大しやすい状況であるため、学校の新しい生活様式に沿って、感染予防及び対策を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校保健事業【重点】 ・小中学校施設運営事業【重点】 ・学校マネジメント支援事業【重点】
⑲ 学校給食の安全衛生管理	小学校給食は小学校給食調理場の衛生管理を徹底し、食の安全を確保します。中学校のデリバリー方式選択制給食は継続実施し、並行して、全員喫食を目標とした給食センター方式を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 中学校給食事業【重点】 小学校給食事業

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

⑰教育施設の整備

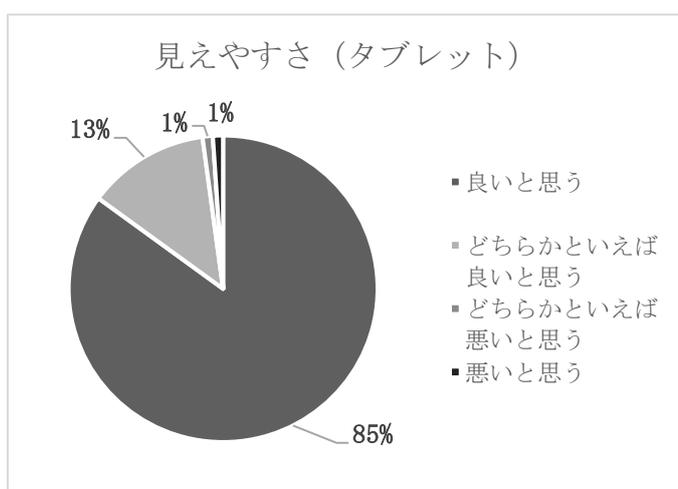
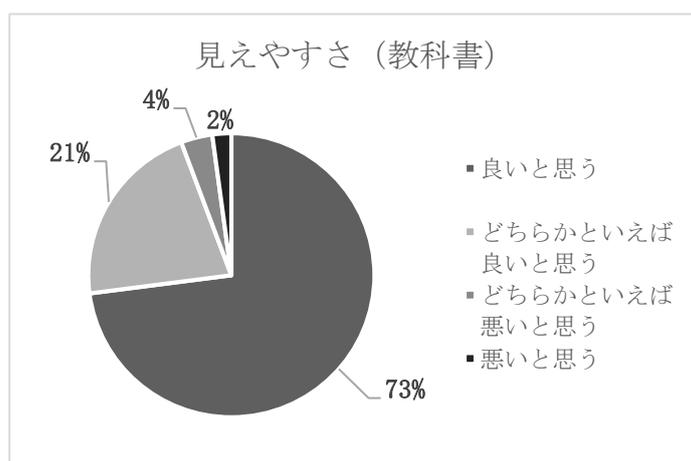
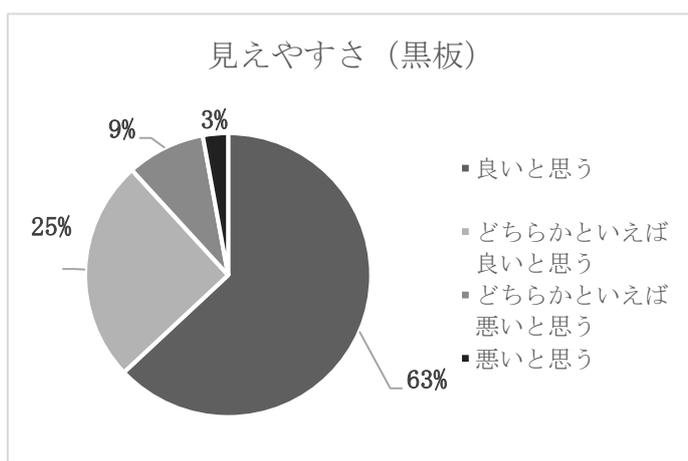
事業（取組）名	小中学校施設改修事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	334,777 千円（334,777 千円）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	191,049 千円（191,049 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
①小中学校トイレの便器の洋式率		54.0%	54.0%	A
②校舎全体の照明のLED化が完了した学校数		3校/15校	3校/15校	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼北小学校にて便器の洋式化や乾床式、照明のLED化等のトイレ改修工事が完了した。[写真 1] ・味生小学校、第二中学校及び第三中学校の照明器具のLED化工事が完了した。[グラフ 1] ・鳥飼北小学校及び第三中学校の体育館エアコン設置にかかる実施設計を行った。 ・千里丘小学校の児童数増加への対応に向けた基礎調査と基本構想案を策定し、改築案の方向性を決定した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事後のトイレ環境の長期的な保全に向けて、定期的な特殊清掃を実施する。 ・35人以下学級の実現に向けて、将来的に普通教室数が不足する見込みがある学校への対策を検討する。 ・千里丘小学校の建替えにかかる基本設計及び実施設計を行う。また、仮設校舎設置時の給食や普通教室の確保などの課題を整理する必要がある。 ・令和7年度を目途に全小中学校の体育館へのエアコン設置完了に向けて、令和4年度は、鳥飼北小学校及び第三中学校の体育館エアコン設置工事を行うとともに、その他の学校へのエアコン設置に向けた実施設計を行う。 			

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

[写真 1] 鳥飼北小学校の改修後のトイレ



[グラフ 1] LED 照明リニューアル工事に係る児童生徒アンケート



リニューアル後の LED 照明により、黒板や教科書、タブレット端末の見えやすさについて、肯定的回答をする児童生徒の割合が約 9 割を占める。

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	小中学校通学区事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	28,775千円（5,000千円）		
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	25,109千円（4,251千円）		
指標		R3目標値	R3実績値	取組評価	
鳥飼地域における今後の学校規模と配置の適正化の調査を完了する。		調査の完了	調査の完了	A	
取組実績	・鳥飼地域における通学区等基礎調査を実施し、当該地域の児童生徒数の減少や35人以下学級の導入等を踏まえ、児童生徒数や学級数の現状把握や課題分析等を行い、学校規模及び配置の適正化を検討するための報告書を作成した。[表1]				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校通学区等審議会を設置し、鳥飼地域における学校の適正規模及び配置について検討する。 ・審議会での検討内容を基に、教育委員会としての方針を決定する。 				

[表1] 鳥飼地域における児童数の将来推計

鳥飼小学校と鳥飼東小学校は、将来的にはほぼ全学級1クラスとなる見込みであり、鳥飼西小学校と鳥飼北小学校はほぼ全学級が2クラスになると推計されている。

鳥飼小学校区

区分	学年	実績		推計					
		2021年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
児童数	1年	40	26	25	23	19	14	11	11
	2年	29	29	23	22	18	16	11	11
	3年	33	20	23	22	18	16	12	11
	4年	31	30	23	23	19	17	13	11
	5年	34	22	23	23	21	18	13	11
	6年	46	27	24	23	21	18	14	11
	全学年	213	154	141	136	116	99	74	66
学級数	1年	2	1	1	1	1	1	1	1
	2年	1	1	1	1	1	1	1	1
	3年	1	1	1	1	1	1	1	1
	4年	1	1	1	1	1	1	1	1
	5年	1	1	1	1	1	1	1	1
	6年	2	1	1	1	1	1	1	1
	全学年	8	6	6	6	6	6	6	6

鳥飼西小校区

区分	学年	実績		推計					
		2021年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
児童数	1年	75	60	66	69	69	63	56	51
	2年	72	58	64	69	69	64	57	51
	3年	56	72	63	67	68	65	59	52
	4年	81	59	61	66	67	65	59	52
	5年	87	69	61	65	67	67	59	53
	6年	66	77	58	64	67	67	61	54
	全学年	437	395	373	400	407	391	351	313
学級数	1年	2	2	2	2	2	2	2	2
	2年	2	2	2	2	2	2	2	2
	3年	2	3	2	2	2	2	2	2
	4年	2	2	2	2	2	2	2	2
	5年	2	2	2	2	2	2	2	2
	6年	2	3	2	2	2	2	2	2
	全学年	12	14	12	12	12	12	12	12

鳥飼北小校区

区分	学年	実績		推計					
		2021年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
児童数	1年	43	51	50	54	51	45	38	35
	2年	68	42	50	53	52	45	39	35
	3年	53	55	48	53	53	48	41	35
	4年	63	52	47	51	52	48	41	35
	5年	57	40	46	49	52	48	42	36
	6年	63	49	49	48	52	49	44	37
	全学年	347	289	290	308	312	283	245	213
学級数	1年	2	2	2	2	2	2	2	1
	2年	2	2	2	2	2	2	2	1
	3年	2	2	2	2	2	2	2	1
	4年	2	2	2	2	2	2	2	1
	5年	2	2	2	2	2	2	2	2
	6年	2	2	2	2	2	2	2	2
	全学年	12	12	12	12	12	12	12	8

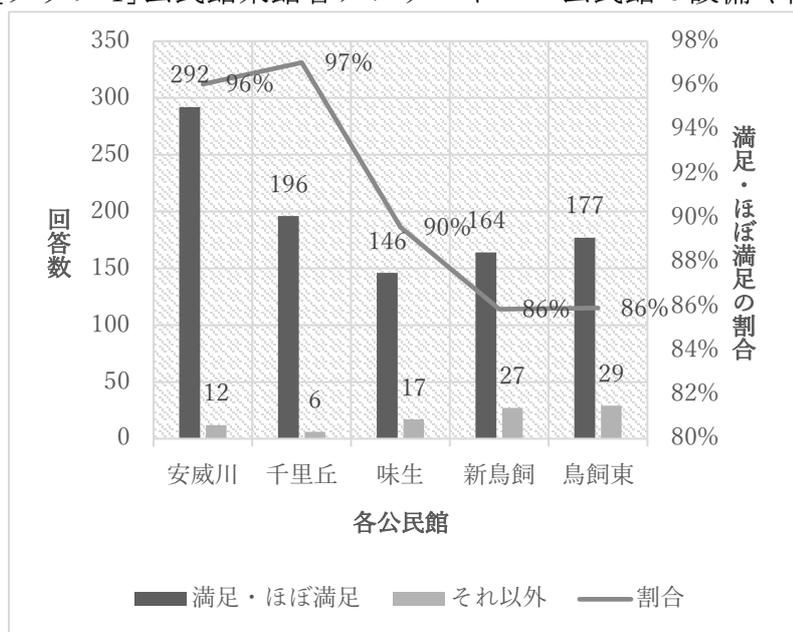
鳥飼東小校区

区分	学年	実績		推計					
		2021年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
児童数	1年	24	9	14	14	12	8	8	7
	2年	19	14	14	14	12	10	8	7
	3年	31	15	14	14	13	11	8	7
	4年	26	24	14	14	13	11	8	7
	5年	22	21	15	14	14	11	8	7
	6年	42	20	9	14	14	12	8	8
	全学年	164	103	80	84	78	63	48	43
学級数	1年	1	1	1	1	1	1	1	1
	2年	1	1	1	1	1	1	1	1
	3年	1	1	1	1	1	1	1	1
	4年	1	1	1	1	1	1	1	1
	5年	1	1	1	1	1	1	1	1
	6年	2	1	1	1	1	1	1	1
	全学年	7	6	6	6	6	6	6	6

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	公民館施設改修事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	251,730 千円（251,730 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	125,783 千円（125,783 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
「公民館の設備や機器について」満足・ほぼ満足と答えた割合[グラフ 1]		70%	91.5%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・安威川公民館において外壁等改修及び照明器具・空調機設備更新の大規模改修工事が令和 3 年 7 月に完了した。また、高圧受変電設備及び舞台音響設備の更新、音楽室等天井修繕及びエントランス庇天井修繕工事を実施した。[写真 1] 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館は築 30 年を超え老朽化が進行しているため、大規模改修や設備更新等が必要である。なお、大規模改修や建替時には、施設の再編や多目的及び多機能化の協議・検討が必要である。 			

[グラフ 1] 公民館来館者アンケート 「公民館の設備や機器について」



[写真 1] 高圧受電設備更新の様子



基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

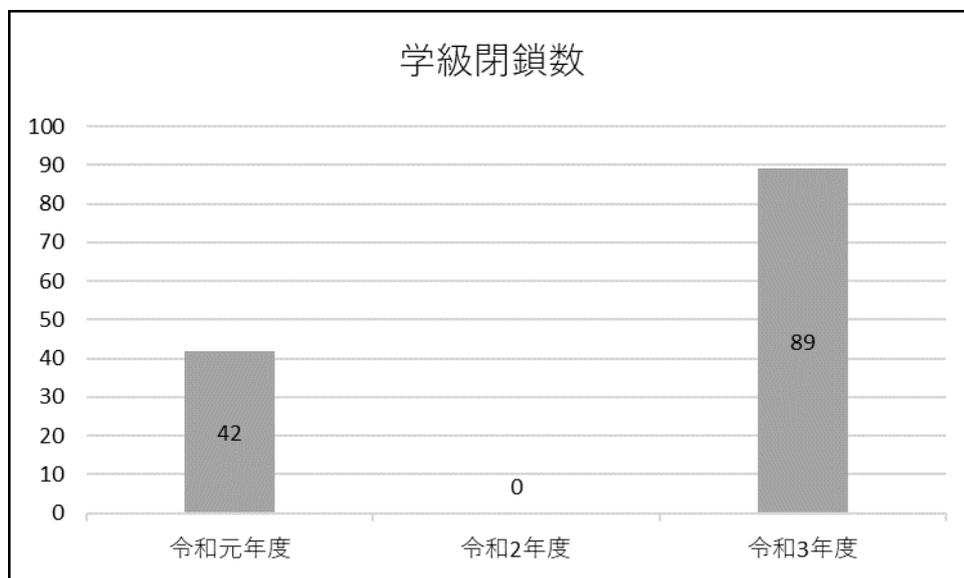
事業（取組）名	図書館施設管理事業・鳥飼図書館センター施設管理事業	予算額（取組内容に係る予算額）	1,853 千円（1,853 千円） 683 千円（683 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	53 千円（53 千円） 2,143 千円（2,143 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
「図書館の設備や機器について」満足・ほぼ満足と回答した割合		70%	84.6%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼図書館センター玄関自動ドアの改修工事を実施した。 ・市民図書館エントランス庇のシーリング工事、天井修繕工事を実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な図書館環境整のため、引き続き関係課及び指定管理者と協力及び協議のうえ、施設の維持管理を行う。 			

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

⑱感染症の予防・対策

事業（取組）名	小中学校保健事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	56,435 千円（56,435 千円）		
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	70,397 千円（70,397 千円）		
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価	
学級閉鎖学級数		41 学級以下	89 学級	C	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防備品として、サーキュレーターや加湿器を普通教室及び特別教室に設置した。 ・「学校欠席者情報収集システム」で感染症情報を市内全小中学校、幼稚園、認定こども園に発信し、各学校園での感染症抑制を支援した。 				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新型コロナウイルスに対応した学校運営を支援するため、各学校の状況に応じて必要な感染症対策備品等を整備する。 				

[グラフ 1] 市内学校園学級閉鎖数経年比較



基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	小中学校施設運営事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	371,534 千円（5,363 千円）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	191,049 千円（191,049 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
児童生徒アンケートで「安心してトイレが利用できている」と肯定的回答をする割合		70%	96%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染拡大予防の観点から、業者によるトイレ清掃を週 1 回全小中学校で実施した。[写真 1] 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・週 1 回の業者による清掃だけでは、快適な環境を維持することが難しいため、学校側としても、定期的に清掃を行うなど対策が必要である。 			

[写真 1] 業者によるトイレ清掃の様子



基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業 【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	134,256 千円（17,741 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	110,252 千円（32,324 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
スクールサポーター★派遣人数（小中合計）		31 人	31 人	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールサポーターを 15 名増員（令和元年度比）のうえ各小中学校へ派遣し、教職員の事務負担を軽減するとともに新型コロナウイルス感染症対策として、校内施設の消毒及びトイレ清掃の補助等を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールサポーターの増員により、児童生徒の学びを保障するとともに、学校内での感染拡大防止及び教職員の消毒等の感染症対策にかかる事務負担を軽減することができた。引き続きスクールサポーターを増員し、各小中学校へ派遣する。 			

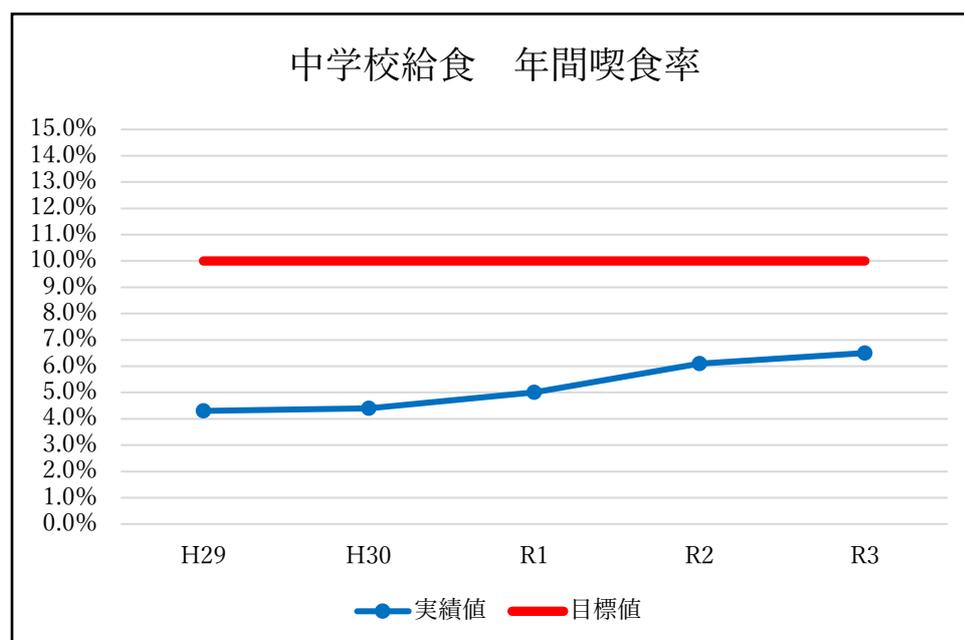
★の説明は 69 頁に記載しています。

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

⑱ 学校給食の安全衛生管理

事業（取組）名	中学校給食事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	71,660 千円（22,203 千円）		
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	65,666 千円（237 千円）		
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価	
中学校給食喫食率[グラフ 1]		10%	6.5%	C	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・デリバリー選択制方式での給食喫食率向上に向けて、人気献立 week を実施するとともに、毎週水曜日の給食に乳酸菌飲料を提供した。 ・全員喫食によるセンター方式での給食実施に向け、候補地の現地確認や他市情報の収集、給食関連業者への聞き取り等を実施した。 				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・デリバリー選択制方式での給食喫食率向上に向けて、コロナ対策を講じながら、引き続き保護者向け試食会等に取り組む。 ・令和 8 年度からの全員喫食によるセンター方式での給食実施に向けて、他市との共同運用といった方法等も視野に入れながら、収集した情報を基に実現可能性を含め検討する。 				

[グラフ 1]年間喫食率の推移



基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	小学校給食事業	予算額（取組内容に係る予算額）	392,410 千円（392,410 千円）		
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	365,150 千円（365,150 千円）		
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価	
食中毒の発生件数		0 件	0 件	A	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抜き打ちのふき取り検査や衛生管理研修を実施した。 ・ 衛生管理マニュアルの順守確認のための効果検証会議を実施した。 				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食中毒防止のため、引き続きふき取り検査や衛生管理研修、効果検証会議等を実施する。 				

基本目標 10 地域全体で教育に取り組む体制づくり

基本目標 10 地域全体で教育に取り組む体制づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標内容	R3 目標値	R3 実績値	R7 目標値
1	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを活かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」と回答した割合 ^{【◆】} (小中学校)	84%	46.7%	100%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑳ 学校・家庭・地域の連携強化	学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体になって、特色ある、「地域とともにある学校づくり」を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校協議会の積極的運営 ・積極的な情報発信 ・学校評価の充実 ・地域学校連携活動支援事業
㉑ 子どもの安全見守り活動の充実	学校・家庭・地域と一体となって、登下校時の交通・防犯の観点で見守り活動を行い、また通学路の安全対策を行うなど、子どもたちの安全を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策事業 ・スクールガード・リーダー配置事業 ・小中学校通学区事業（再掲） ・地域子ども安全安心事業

基本目標 10 地域全体で教育に取り組む体制づくり

⑳学校・家庭・地域の連携強化

事業（取組）名	学校協議会※の積極的運営	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
学校協議会を複数回実施した校数		15 校/15 校	13 校/15 校	B
取組実績	・学校協議会にて出された意見を取り入れ、各校の実状に合わせた特色のある学校運営が実施された。			
今後の取組	・学校運営協議会（コミュニティスクール）※の運営に向けて、令和 4 年度中にモデル校を指定し、試験的に運営する。今後、市内で学校協議会を発展させた学校運営協議会を増やし、各学校と地域が連携した取組を推進できるよう支援する。			

※学校協議会：保護者や地域住民の声を学校運営に反映し、また校長の求めに応じて、保護者・地域住民・有識者等が様々な視点から意見交換や提言を行う組織。校長が委員を委嘱し、年間を通じて計画的に会議や行事参観等を行う。

※学校運営協議会（コミュニティスクール）：学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」を進める法律に基づいた仕組み。主な役割として「学校運営基本方針の承認」「学校運営に関する意見提示」「教職員任用に関する意見提示」等がある。

事業（取組）名	積極的な情報発信	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
「教育課程の趣旨について、学校や地域との共有を図っている。」と回答する学校の割合【◆】		73.3%	86.6%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報紙に、児童生徒の活躍、それを支援する教員の様子を複数回掲載した。 ・Web ページや動画（YouTube 等）を活用して市の取組を発信した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各学校の取組に関する情報を発信し、学校、家庭、地域が連携した教育力の向上につなげる。また、ICT 教育、職種体験、地域との協働的な学習等市内での先進的な取組を発信し、摂津市の教育活動に対する認知を広める。 			

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

基本目標 10 地域全体で教育に取り組む体制づくり

事業（取組）名	学校評価※の充実	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
学校評価における保護者アンケート回収率		85.0%	83.3%	B
取組実績	・学校、家庭、地域が連携し、学校運営の改善を図るため、学校経営計画に基づいた学校評価を実施・公表した。			
今後の取組	・引き続き、学校経営計画に基づき学校評価を実施・公表するとともに、評価結果を分析し、学校運営の改善や教育水準の向上への指導・助言を行う。			

※学校評価：学校が目標や取組の達成状況を明らかにして、学校運営の改善を図るために行うもの。「自己評価」「学校関係者評価」「第三者評価」があり、「自己評価」は実施及び公表が法律で定められている。

事業（取組）名	地域学校連携活動支援事業	予算額（取組内容に係る予算額）	4,204 千円（4,204 千円）	
担当課	子育て支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	2,467 千円（2,467 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
各中学校区の主行事の参加者数		1,558 人	926 人	C
取組実績	・実行委員会を開催し、各校区の活動状況等の共有を図った。 ・すこやかネットでの取組として、子どもたちの登下校時の安全を確保するため、地域の方や PTA の方の協力を得ながら通学路等での見守り活動を実施した。一方で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各校区の行事が中止となった。			
今後の取組	・引き続き、家庭、地域の方の協力のもと、学校、家庭、地域が連携しながら、安全・安心なまちづくりを目指した活動を行う。			

基本目標 10 地域全体で教育に取り組む体制づくり

㊦子どもの安全見守り活動の充実

事業（取組）名	安全対策事業	予算額（取組内容に係る予算額）	18,305 千円（17,527 千円）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	15,376 千円（15,376 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
学校運営中の不審者侵入事案		0 件	0 件	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の受付員を平日のほか、休日に実施される運動会時にも配置した。 ・こども安全巡視員による青色防犯パトロールカーでの防犯活動を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・受付員の配置及び青色防犯パトロールカーでの巡回等により、学校園への不審者侵入件数は0件であった。 ・引き続き、学校園への受付員の配置及びこども安全巡視員による防犯活動を実施するとともに、学校園へのヒアリングを実施し、事業の見直しを検討する。 			

事業（取組）名	スクールガード・リーダー※ 配置事業	予算額（取組内容に係る予算額）	546 千円（546 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	556 千円（540 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
スクールガード・リーダー巡回数		120 回	227 回	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時における子どもたちの安全を確保するため、スクールガード・リーダーを7名配置した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きスクールガード・リーダーを配置し、子どもたちの交通安全確保のほか防犯への啓発や学校への助言などを行い、地域と一体となった見守り体制を維持し、児童生徒の安全を確保する。 			

※スクールガード・リーダー：学校や通学路等を巡回し、学校や児童の安全確保のほか、安全に関する学校や地域、PTA 等の取組への助言なども行う指導員

基本目標 10 地域全体で教育に取り組む体制づくり

事業（取組）名	小中学校通学区事業	予算額（取組内容に係る予算額）	28,775 千円（23,307 千円）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	25,109 千円（20,435 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
通学路における改善要望があった項目のうち、改善可能箇所に対する措置完了率		100%	100%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の危険箇所について、改善要望があった 63 箇所中 23 箇所に電柱幕設置や路面標示復元等を実施した。 ・市内 25 箇所に交通専従員を配置し、登下校時の児童の交通安全を確保するため、見守り活動を実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係課及び関係機関と連携し、危険個所の改善に取り組む。 			

事業（取組）名	地域子ども安全安心事業	予算額（取組内容に係る予算額）	662 千円（662 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	560 千円（560 千円）	
指標		R 3 目標値	R 3 実績値	取組評価
実施者証保持者数		65 人	54 人	C
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・当初青色防犯パトロール講習会の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、摂津警察署からの講師派遣が停止され、講習会を中止した。そのため、実施者証保持者数が減少した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況を鑑みながら、関係課及び関係機関と協議し、少数での講習会の実施回数を増やしたり、教育委員会内事務局職員を講習に参加させるなどして、実施者証保持者数の減少を防ぐ。 			

摂津市が配置等している支援人材一覧

名称	内容	配置数	掲載
国際理解教育社会人講師	児童生徒に他国・地域の言語や文化について、活動を通じて説明・紹介を行う。	8人	P. 10
日本語指導講師	海外からの帰国子女及び渡日児童生徒に対する適切な学校教育の機会の確保を図るために母語指導も含めて日本語指導を行う。	9人	P. 10
学校読書活動推進サポーター	児童生徒の読書活動を推進させることを目的とし、学校図書館の環境整備や図書の推薦、教員の読書指導の支援等を行う。	10人	P. 11
ICT支援員	市内小中学校の教員に対して、タブレット型PCの活用事例等や授業提案を行う。	4人	P. 14
学校経営サポーター	市内小中学校の抱える課題解決に向け、校長の学校経営をサポートし、管理職を含めたOJTによる人材育成を行う。	3人	P. 18
学校教育相談員	経験の浅い教職員の授業、学級経営、生活指導などについての助言を行うため、市内各校への巡回指導を行う。	4人	P. 18
学習サポーター	児童生徒の学力向上と学習習慣の定着のため、小中学校における学習活動の支援を行う。	83人	P. 22
部活動指導員	部活動顧問として専門的な技術指導による生徒の技術向上と当該部活動の顧問教員の業務時間、精神的な負担軽減を行う。	5人	P. 25
部活動補助員	当該部活動の顧問教員のサポート的役割として、生徒に対して専門的な技術指導を行う。	4人	—
外国語活動支援員	学期に2回程度各小学校に派遣し、教員の外国語活動・外国語の指導力向上のためのアドバイス等を行う。	1人	P. 28
外国人英語指導助手(ALT)	英語を母語とする外国人を中学校区に1名を通年派遣し、外国語活動や外国語の授業において学級担任や教科担当とのチームティーチングを行う。	6人	P. 28
特別支援教育推進専門員	学校における個に応じた指導と支援を充実させるため、専門家が市内各校を巡回し、指導助言を行う。	1人	P. 34
進路選択相談員	高等学校、専門学校、大学等への進学に際して、経済的理由等により進学または就学を行うことが困難な生徒及びその保護者に対して相談、支援を行う。	1人	P. 37
スクールソーシャルワーカー(SSW)	不登校や問題行動等の課題を抱えた子どもに対して、福祉の視点を取り入れた支援方法を用いて課題解決を行う。	5人	P. 38
スクールカウンセラー	児童とその保護者を対象に、発達相談や教育相談を行う。	11人	P. 40
さわやかフレンド	不登校の児童生徒に対して、学生・大学院生による有償ボランティアが話し相手や遊び相手、学習補助を行う。	17人	P. 40
スクールサポーター	教員が子どもと向き合う時間を確保するため、教職員の事務作業負担を軽減する。	31人	P. 61
障害児等支援員	重度重複障害児童生徒が在籍する学校に配置し、対象児童生徒の生活介助・訓練・作業及び学習指導の補助を行う。	12人	—
教育活動支援員	校長の学校経営方針のもと児童生徒の個別の学習指導や生活指導の支援、集団指導の支援などを行う。	39人	—